

情報公開文書

研究課題名	mediVRカグラを用いた体性認知協調療法の臨床効果に関する 前向き研究
所属（診療科等）	国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科
研究責任者	大井 雄太
研究機関	国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科
研究期間	研究機関の長の許可日から 2027 年 3 月 31 日まで
研究目的と意義	mediVRカグラガイド下リハビリテーション（体性認知協調療法とも呼ぶ）の各種身体機能、認知機能指標に対する改善効果を検証する。外来、あるいは入院患者に対して使用し、その効果を前向き介入研究のデータとして集め、他疾患でカグラを使わない患者のデータも同様にデータ収集して比較するなど多面的な解析を行う。
研究内容	●対象となる患者さん； 身体機能障害（失調症状、歩行やバランス障害、上肢機能障害、構音・嚥下障害等）、又は認知機能障害（高次脳機能障害、注意障害及び半側空間無視等）を呈する患者。各疾患又は病態に応じてそれぞれ 10-15 例程度。ただし可能な範囲でより多くの被験者データを集め、精度の高い解析を目指す。 ●利用する情報； 患者さんの背景（年齢、性別、基礎疾患など） 本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。 ●研究の概要・方法； mediVR カグラガイド下リハビリテーションの前後で基礎疾患や病態に応じて以下の指標を計測、評価。各種身体機能評価指標：10m 歩行テスト、Timed up and go test(TUG)、Functional Independence Measure(FIM)、Berg balance scale(BBS)、重心動揺計測定値、等。各種認知機能評価指標：Mini-Mental State、長谷川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-Rating Depression Scale(SDS) スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。
問い合わせ先	研究担当者氏名：大井 雄太（医師） 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科 住所：京都府舞鶴市字行永 2410 番地 電話：0773（62）2680 FAX 0773（63）5332